

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オンライン砺波B		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容や時間を明確にした視覚スケジュールや、事業所内の活動スペースの区分けによる構造化によって、活動の見通しがしやすく、活動の切り替えをしやすくしている。	・タイマーや時計で時間の見通しや区切りをつける習慣をつけるようにしている。そのため必要に応じて時計の読み取りの練習もしている。	・子ども達が来所から退所までのスケジュールを自己管理できるような環境調整を更に進めたい。
2	・デジタルゲームを活用してコミュニケーション能力や人間関係・社会性を育てている。	・児童の強み(大好き)であるデジタルゲームでの遊びを通じて、声を掛け合ったり、発表したり、順番やルールを守ったり、譲り合ったり、折り合いをつけたりする習慣をつけている。	・話し合いや、自分の意見を発表することが上手になるようなツールを取り入れるなどして改善したい。
3	・利用児童の約束事に、児童の意見も取り入れるようにしている。	・わくわくタイムで、約束事についての話し合いの時間を作っている。 ・話し合いで出た児童の意見を約束事の変更に反映させている。	・わくわくタイムでの話し合いで意見を言う児童が決まっているので、より多くの児童が意見を言えるような環境調整を図りたい。 ・子ども達が決めた約束事は掲示する等して視覚的に分かるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士が交流する機会を設ける等の支援ができていない。	・保護者同士が交流する機会としては、月1回の親子参加のゲームイベントがあるものの、参加の広がりには課題がある。	・保護者同士の交流する機会については保護者から意見を募りたい。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと交流する機会がほとんどない。	・地域の子どものと交流する機会としては、月1回の親子参加のゲームイベントがあるものの、地域の子どもの参加することがない。 ・平日の放課後は利用時間が限られているため、交流のための時間は取りにくい。	・夏休み等長期休暇中に地域の他の子どもと交流する機会を検討してみたい。
3	・家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が少ない。	・親子参加のゲームイベントで、スタッフの児童に対する声掛けや対応を保護者に見せる(モデリング)ことによるペアトレを行っている。しかし、参加者が固定化されているので工夫が必要である。	・家族に対する新たな情報提供の仕方を検討したい。